

科目分類	専門職の教育			開講学科	看護学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
11042	3	前期	必修	1	30
授業科目名 (英文)	母性看護援助論Ⅱ（臨床看護援助論） (Maternal-newborn Nursing Ⅱ)				
担当教員名	○米山万里枝／槌谷亜希子／島田祥子／橋元千久佐／前田のぞみ				
<b>授業の概要及び到達目標</b>					
<p><b>[授業概要]</b>  母性看護学は、リプロダクティブヘルス／ライツの理念を看護の基盤として、看護の対象および看護の機能と役割を理解し、看護実践に必要な基礎的な能力を養うことを目的としている。本科目では、妊娠・分娩・産褥期にある女性と新生児、およびその家族を対象として、ウェルネスの観点から、妊娠および出産に関わる健康課題や健康問題を明らかにし、基礎的な看護の方法（看護過程、フィジカルアセスメント、保健指導など）を講義、グループワーク、演習を通して学習する。</p> <p><b>[到達目標]</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 妊娠・分娩・産褥期にある女性と新生児、その家族の特徴について説明できる。</li> <li>2. 妊娠・分娩・産褥期にある女性と新生児に対する看護過程について説明できる。</li> <li>3. 妊娠・分娩・産褥期にある女性と新生児に対する看護の方法について説明できる。</li> <li>4. 妊娠および出産に関わる倫理的問題を理解し、看護の役割について説明できる。</li> </ol>					
<b>準備学習等</b>					
<p><b>【講義の準備学習】</b>  テキストの以下の部分を予習してあることを前提に講義を進めるので熟読しておくこと。提示された事前学習課題に取り組み、講義に持参すること。事前学習は各講義・演習前に1時間程度行うこと。  第1, 2, 3回 テキスト① 第6章「産褥期における看護」    テキスト① 第7章「妊娠・分娩・新生児・産褥の異常」  第4, 5, 6回 テキスト① 第5章「新生児期における看護」第6章「産褥期における看護」    テキスト① 第7章「妊娠・分娩・新生児・産褥の異常」  第7回  テキスト② 第1, 2章「看護過程とは」、「ウェルネス看護診断」  第8回  テキスト① 付章 「事例による看護過程の展開」第3章「看護過程の実際」  第14回                                      テキスト① 第2章「母性の発揮を促す看護」  講義終了後は、テキストと講義資料で1時間程度、復習すること。</p> <p><b>【演習：事例展開の準備学習】</b> 第9, 10, 11, 13回  テキスト②第3章「看護過程の実際」とこれまでの講義資料を熟読し、個人課題を行った上でグループワークに参加する。授業後は、看護過程の展開について追加、修正を行う。</p> <p><b>【援助技術演習の準備学習】</b> 第12回  事前に提示される演習自己課題に取り組み、ナーシングスキル等を活用し、基本的な手順を理解した上で演習に参加すること。演習終了後は、自己の技術の振り返りを行うこと。</p>					

成績評価の方法	筆記試験 80%、小テスト 10%、レポート課題 10%
テキスト	<p>「系統看護学講座 専門分野Ⅱ母性看護学[2 母性看護学各論]」（森 恵美他、医学書院）</p> <p>「系統看護学講座 専門分野Ⅱ母性看護学[1]母性看護学概論」（森 恵美他、医学書院）</p> <p>「ウェルネス看護診断にもとづく母性看護過程 第3版」（太田 操編、医歯薬出版）</p>
参考図書	<p>「ナーシンググラフィカ母性看護学①：概論・リプロダクティブヘルスと看護」（中込さと子他編、メディカ出版）※</p> <p>「ナーシンググラフィカ母性看護学②：母性看護の実践」（小林康江他編、メディカ出版）※</p> <p>「母性看護学1 妊娠・分娩 第2版」（村本淳子他編、医歯薬出版）※</p> <p>「母性看護学2 産褥・新生児 第2版」（今津ひとみ他編、医歯薬出版）※</p> <p>「ウェルネスからみた 母性看護過程＋病態関連図 第2版」（佐世 正勝編、医学書院）※</p> <p>「病気がみえる vol.10 産科改訂第4版」（医療情報科学研究所編、メディックメディア）※</p> <p>「新看護観察のキーポイントシリーズ母性Ⅰ」（前原澄子編、中央法規）※</p> <p>「新看護観察のキーポイントシリーズ母性Ⅱ」（前原澄子編、中央法規）※</p>
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本科目は、看護学概論、生涯発達ケア論を基盤とし、母性看護援助論Ⅰと連動して、母性・小児看護学実習につながる科目である。</li> <li>・本科目の単位取得は、母性・小児看護学実習の履修前提条件である。</li> <li>・授業で提示する事前学習課題・ミニテストは、添削後返却するので、以降の学習に活用すること。</li> <li>・各教員のオフィスアワーについては、看護学科「オフィスアワー」の項を参照すること。</li> </ul>
授 業 計 画	
第1回	母性看護援助論Ⅱの概要 産褥期における看護 ①産褥期の特徴（正常・異常）【講義】（槌谷）
第2回	産褥期における看護 ②産褥期の特徴（正常・異常）【講義】（槌谷）
第3回	産褥期における看護 ③産褥期のアセスメントと看護の概要【講義】（槌谷）
第4回	新生児期における看護 ①新生児期の特徴（正常・異常）【講義】（橋元）
第5回	新生児期における看護 ②新生児期の特徴（正常・異常）【講義】（橋元）
第6回	育児期の母子への看護【講義】（島田）
第7回	母性看護学における看護過程の展開 【講義】（槌谷）
第8回	妊娠期・分娩期のアセスメントと看護【講義】（槌谷）
第9回	妊産褥婦に対する援助技術【演習】（全教員）
第10回	生殖補助医療を受ける女性と家族の看護【講義】（米山）
第11回	産褥期・新生児期のアセスメントと看護—事例展開【演習】（全教員）
第12回	産褥期・新生児期のアセスメントと看護—事例展開【演習】（全教員）
第13回	産褥期・新生児期のアセスメントと看護—事例展開【演習】（全教員）
第14回	事例展開・発表【演習】（全教員）
第15回	全体のまとめ 【講義】（槌谷）